



県政レポート

2024年1月
発行：桜井ひでき事務所

vol.20

message

新年明けまして おめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、再び県政の場に送っていただき、この4月で一年が経ちます。今年度は会派の役をいただき、政策調査会長として12月議会では初めての代表質問や知事に対し予算要望など、議員2期目となり、幅広い議員活動になったと感じています。しかし、県民目線で見ると世界での紛争による影響、とりわけ物価高騰については出口が見いだせない状況であり、**本年も皆さまと多くの会話をしながら現場の声に耳を傾け政策につなげていく所存です。**

本年も変わらぬご支援・ご指導をお願い申し上げます。



▲職場行事に呼んでいただき
多くの方と触れ合いました!



TOPICS

1

代表質問に臨みました!

愛知県議会では、毎議会ごとに交渉会派(6人以上)による代表質問がおこなわれ、12月議会では政策調査会長である小職が、県政各般にわたり質問をさせていただきました。

* 詳細については、2ページ及び県議会ホームページを参照ください。

質問項目

1. 行財政改革の取組について
2. 感染症対策について
3. 魅力ある愛知の実現について
 - (1) 自動運転について
 - (2) 休み方改革(ラーケーション)について
4. カーボンニュートラルの実現に向けた
中小企業支援について
5. 更なる愛知の発展について
 - (1) アジア競技大会・アジアパラ競技大会について
 - (2) 革新事業創造戦略の推進について
 - (3) ジブリパークを活用した周遊観光の促進について
6. 安全・安心の確保について
 - (1) 飲酒運転の根絶に向けた対策について
7. 誰もが活躍できる社会の実現について
 - (1) 少子化の対応について
 - (2) 男女共同参画社会の実現に向けた男性の育児休業取得促進について
 - (3) 教員の多忙化解消に向けた取組について



桜井の一言!

今回の代表質問数は12問でしたが、2カ月前より県政全般に関わる分野を30問選び、部局とのヒアリングを経て、最終的に12問に絞り込みました!

今後も、多くの皆さんから意見をいただき、政策実現につなげます!!

代表質問の様子が
ご覧いただけます。▶
(愛知県議会ホームページ内)



「あいちウィーク」と「県民の日」を契機に 愛知の魅力を発信します!



代表質問

12月定例議会が12月1日(金)～12月20日(水)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問をおこない、あいち民主県議団からは、政策調査会長である桜井秀樹議員(豊田市選出:2期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。



▲代表質問する桜井秀樹議員

質問1 魅力ある愛知の実現について

Q 自動運転について、愛知県は、これまでの実証実験で培ったノウハウを今後、どのように活用していくのか伺う。

大村知事 答弁

これまで、全国初となる5Gを活用した遠隔型自動運転を実施するなど、自動運転技術の向上に焦点を当てた実験をはじめ、公共交通との連携や車室空間のあり方といった自動運転車両の多様な活用方法の検討などについても取り組んできた。**今後は、2024年10月のSTATION Ai開業時には、STATION Aiと名古屋駅とを自動運転で結び、往来の激しい都心での全国初となる定期運行の実現を目指す。**また、これまでの取組で得られたノウハウをもとに、県内市町村等が独自に行う実証実験の計画策定や実施にあたり積極的に支援を行い、県内における自動運転の普及拡大にも努めていく。



質問2 カーボンニュートラルの実現に向けた中小企業支援について

Q 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた体力がないとされている、中小企業支援について、どのように取り組んでいけるのか伺う。

大村知事 答弁

今年度は、脱炭素経営に取り組む意欲が高い中小企業にアドバイザーを派遣し、CO2排出量の算定や削減目標の設定等の支援を開始したほか、普段から中小企業に寄り添う金融機関や名古屋商工会議所と連携して、環境省の新規事業である「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択を受け、よりきめ細かい支援に取り組んでいる。さらに11月には、中小企業の支援体制を更に強化するため、**本県が中心となって、金融機関や経済団体、国、市町など56機関による「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を設立し、参画機関がしっかり連携・協働しながら、地域ぐるみで中小企業の脱炭素経営に向けた取組を支援し、「カーボンニュートラルあいち」の実現を目指していく。**

◀答弁する大村知事

質問3 誰もが活躍できる社会の実現について

Q 教員の多忙解消に向け、施策と時間軸が一体となった「愛知県版教員の多忙化解消プラン・ロードマップ」を作成し取り組むべきでは?

飯田教育長 答弁

今年度から、市町村の小中学校10校をモデル校に指定して、授業時間数の見直しや会議資料等のペーパーレス化などの業務改善を実践している。このモデル校における業務改善の成果をとりまとめ、県内全域に周知するとともに、取組成果の報告会をオンラインで実施し、県内すべての学校に参加を促している。また、国においては、**2024年度からの3年間を、教員の働き方改革、処遇の改善、指導・運営体制の充実を一体的に進めていく集中改革期間としている。こうした国の動きや、モデル校における業務改善の成果などを取り入れ、この3年間で多忙化解消の道筋をつけるロードマップを、来年度の夏ごろまでに作成していく。**

答弁する飯田教育長▶



主な議案

令和5年12月定例議会が、12月1日から12月20日までの会期で開かれ、総額603億余円の一般会計補正予算案を始め、条例の一部改正、人事案件などの51議案を集中的に審議し、可決成立させました。

今回の開会日に提出された補正予算には、大規模災害への対応のための愛知県基幹的広域防災拠点事業計画地内における埋蔵文化財発掘調査の実施費用が含まれています。さらに、最終日には、国によるデフレ完全脱却のための総合経済対策に呼応し、国の「重点支援地方交付金(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)」を活用した事業や、土地改良や道路・河川整備の公共事業を行うための費用を計上した、追加補正予算が上程され全ての議案を議決しました。

また、意見書については、あいち民主議団から提案した「教員の働き方改革の推進及び教員不足の解消について」と「PFAS(有機フッ素化合物)対策の推進について」を始め5件を採択しました。

首都圏から愛知県へ移住支援を推進し地方の担い手を確保します

東京一極集中の是正、地方の担い手不足に対処するため、市町村を通じて支給する「移住支援金」により、首都圏からの移住支援を推進し、地方の担い手確保を促進します。

- 対象**：首都圏から移住して県内の中小企業に就職した者等に対して「移住支援金」を支給する市町村(県内52市町村)
- 支給要件**：東京23区内に通算して5年以上就業又は在住し、移住後1年以内に県が運営するマッチングサイトの掲載求人に就業した者 等
- 支給額**：世帯:1,000千円※、単身:600千円

豊橋市新アリーナの整備に向けた取組を支援します

豊橋市新アリーナにおいて、愛知県新体育館(愛知国際アリーナ)とスポーツ大会やイベントの連携を図り、相乗効果を上げるとともに、賑わいを創出することにより、東三河地域のスポーツ振興及び地域振興を促進します。

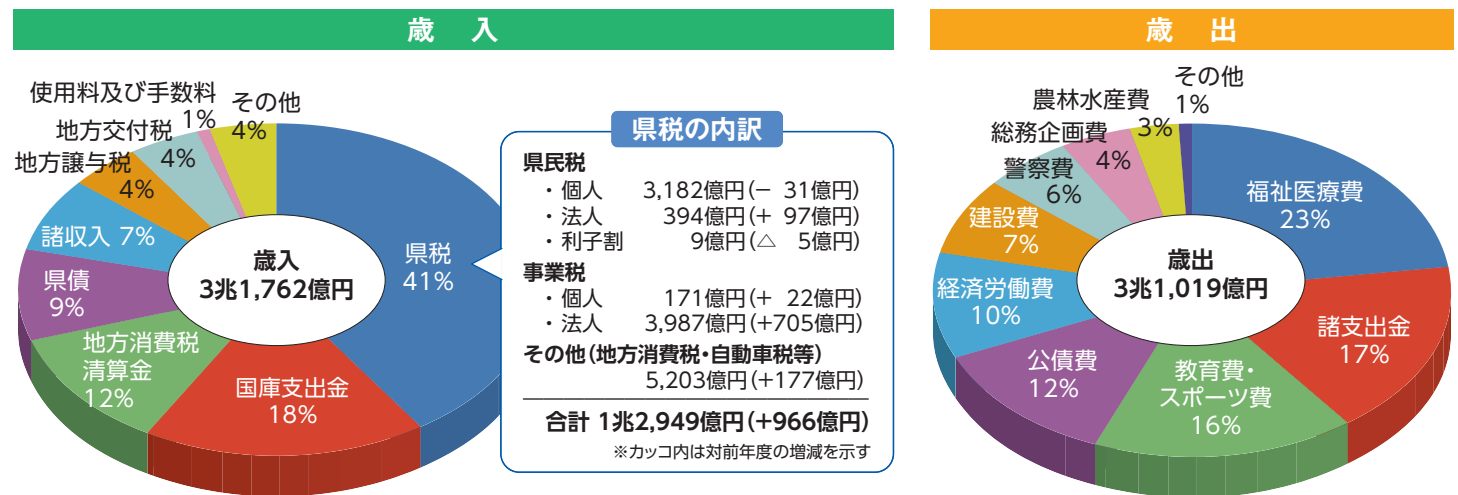
●県との連携について

東三河地域のスポーツ振興及び地域振興を目的に、愛知県新体育館(愛知国際アリーナ)と一体となり、大規模スポーツ大会やイベントの同時開催を行っていく。



【豊橋公園 ゾーニングイメージ図】
*2027年度中の開業を目指します!

令和4年度一般会計決算について



総括

○企業収益の回復による法人二税の増加などにより、財政調整基金及び減債基金(任意積立分)の取崩しを全額取り止め、財政調整基金に積立を行った上で、**令和3年度に引き続き実質収支が黒字となった。**

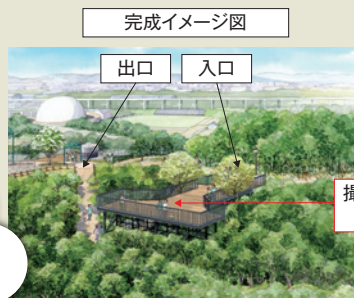
●しかし、県の財政運営は、**令和7年度にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者なることなどにより医療・介護などの扶助費が引き続き増加することから、依然として厳しい状況になり、令和5年度当初予算においても、多額の基金取崩しにより財源を確保している。**加えて、海外景気の下振れ、物価上昇、金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。



ジブリパークの 更なる向上に向けて！

愛・地球博記念公園においては、ジブリパークのチケット(予約制)を持ってなくても、来園者が「魔女の谷」を上から眺めながら、併せて記念撮影もできるよう、眺望施設を整備しています。(愛知県都市公園条例の一部改正)

展望台へのアクセスは
バリアフリー経路として
スロープカーを整備

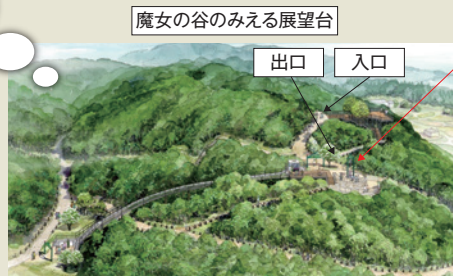


撮影スポット
(夏の翼)

空に向かって
舞い上がるような
写真が撮れます！



※参考イメージ



魔女の谷のみえる展望台



ベルモニュメント

©GISPRI

※参考イメージ

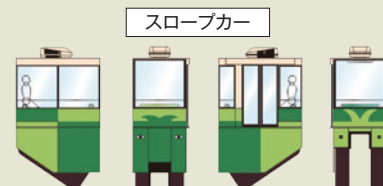
【使用料の額】●対象：魔女の谷のみえる展望台

- ・入 場：30分間隔で時間を指定(退場は指定なし)
- ・平 日：無 料
- ・土日休日等：有料(中学生以上1人1回につき150円、小学生以下無料)

【供用開始時期(条例施行日)】2024年3月16日(土)

桜井から のお知らせ

3月16日(土)には、魔女の谷を含め全5エリアが開園します。また、毎月10日にはチケット販売抽選をおこないますが、毎月27日は「県民デー」として、愛知県民が優先的に購入でき、ジブリの世界観に触れることが可能です！※「県民デー」のチケットは、愛知県内にお住まいの方のみがお申込みいただけます。



スロープカー

日々の活動



10/22 トヨタ自動車堤工場 秋フェスタ

天候にも恵まれ5年ぶりの開催となり、多くの企画で皆さん楽しませていました。



10/26 あいち民主県議団 街頭活動

名古屋市栄地区にて県民の皆様には議員活動を知っていただくため、チラシを配布し報告をしました。



10/31 ジャパンモビリティショー を視察

愛知県のブースでは『空と道がつながる愛知モデル2030』を発表し、空飛ぶ車など展示されていました。



11/13 アジア競技大会、アジア パラ競技大会を盛り上げ!

69市町村フラッグツアー用の現物が議会棟に展示されました。2024年3月までに県内全市町村で巡回展示されます。



11/17 自治労愛知県本部の 県要望会に立会!!

人事院または人事委員会勧告に基づき給与改正を反映するよう要望しました。



11/30 全建愛知との 意見交換会で県政報告

建設業の労働組合で構成している全建愛知様に県議団の活動を報告しました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ <https://sakurai-hideki.com/>

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

